

研究計画書

ゼミ名	岡田ゼミⅡ	チーム名	オカッシー
タイトル	神戸スイーツ 勝利への道		
テーマ群	e)産業・企業、f)歴史・思想		
メンバー	柴田 一輝 木村 涼 小川 滉平 下岡 大輝 服部 友哉 石津 愛子 氏田 かおる 尾内 晴香 小林 清香 藤原 理沙		
研究計画内容	<p>【研究テーマ】</p> <p>神戸スイーツがどのように文化として根付いたのか、地域産業の発展に貢献しているのかなど、神戸スイーツをさまざまな面から研究することで、コンビニスイーツや他地域のスイーツとの差別化を図る。そして、そこから見えてきた神戸スイーツの魅力を甲南大生に伝える。</p> <p>【研究の背景】</p> <p>神戸について語る上で洋菓子を外すことはできない。市が実施した神戸に対するイメージ調査では、洋菓子が神戸ビーフを抑え1位となっている。神戸の洋菓子は一般に神戸スイーツと呼ばれ、市内外問わず多くの人々に親しまれている。関連イベントも多数開催され、神戸経済に与える影響は大きい。</p> <p>神戸スイーツ産業の成長は神戸経済の活性化につながるが、近年大きな成長は見られない。原因の一つとして考えられるのは、コンビニスイーツの躍進だ。低価格で高品質、立地や営業時間という利便性も相まって、コンビニスイーツは高い支持を獲得している。このコンビニスイーツの台頭によって、神戸スイーツの今後が危ぶまれる。実際に、甲南大生に対し行った、専門店とコンビニどちらでスイーツを購入するのかといったアンケート調査から、甲南大生の関心はコンビニスイーツに向いていることが判明した。地元の大学生が神戸スイーツを買わなくなっているのが現状だ。</p> <p>【研究の目的】</p> <p>人々に神戸スイーツの重要性、地域に果たす役割を理解してもらう。また、地元産業である神戸スイーツを身近に感じてもらうことで、今日さまざまな課題をかかえる神戸について関心を高めてもらう。</p>		